

会 議 の 概 要

1 会 議 名 (審議会等名)	令和元年度 第1回 宝塚市立図書館協議会
2 開 催 日 時	2019 年 5 月 11日 午後 2 時～ 4 時
3 開 催 場 所	宝塚市立西図書館 集会室
4 出 席 委 員	柳 勝文、中 由美子、久野 和子、成瀬 雅巳、田川 隆司、樋口 正和、 富樫 恭子、根津 日登美、三宅 三千男(敬称略) 計9名
5 公開不可・一部不可の場合の理由	
6 傍 聴 者 数	0 人
7 公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可
8 議題及び結果の概要	<p>(1) 図書館協議会からの意見書提出について (小委員会委員からの報告)</p> <p>昨年5月の図書館協議会で、宝塚市立図書館における指定管理者制度導入について、小委員会を設けて研究することとされた。合計7回の会議を行い、意見書案の形にまとめた。宝塚市立図書館への指定管理者制度の導入は適切ではないという結論に至った。結論に至った理由としては10項目。今後の宝塚市立図書館に対する提言として5項目。協議・研究内容及び参考資料を添付。 意見書案の位置づけは、図書館法第14条第2項による提出。</p> <p>指定管理者制度の導入により、人権の問題の徹底や個人情報の保護に疑問。本市の貸出実績は、人口20万人台の同規模市との比較では上位10%で、充実した図書館サービスを守っていくべきである。</p> <p>(委員からの主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民サービスの充実の視点から見て、本市の図書館は直営で頑張っている。 ・地域独自の古い資料を引き継いでいくには、高度なノウハウを有する人材が必要で、指定管理者では困難。 ・図書館の運営形態の検討に際しては、図書館の職員、サポーター、市民の3者の連携が重要。図書館協議会の役割として、利用者や市民の意見等の集約が重要。 ・全国的に見て、指定管理者制度の導入は少ない状況。貸出実績の高い所では、導入の割合は少ない。 ・サービス向上の議論をする時に、開館時間の長さだけではなく、貸出実績が増える形の方策が必要。 ・教育の分野では、知識・経験の積み重ねが重要で、組織のあり方を安易に変える必要は無い。図書館においても、人と人との関わりが重要。 ・本市の図書館において、今後10年間で退職者が一定数になる見込みで、ノウハウの継承には、安定した職員体制の整備が必要。 ・図書館サービスを受けられる所が少ないのが本市の課題。スーパーマーケット等の商業施設の中に、サービスポイントを設置する形の検討を。

[採決について]

(委員長) 本日の各委員の意見等も踏まえて、採決。原案どおり議決。

(2) 図書館利用者アンケート(平成 31 年 1 月実施分)の結果について

(事務局)

- ・利用者アンケートは、直近で、平成 26 年度に実施。今回、平成 30 年度のアンケートが 6 回目。
- ・各館の「満足度」は、中央図書館が 88%、西図書館が 91%、中山台分室が 86%、山本南分室が 81%、移動図書館が 88%。
- ・「図書館が最優先で取り組むべき課題」は、中央図書館では、「図書・資料の充実」が 41%、「開館時間延長」が 7%、西図書館では、「図書・資料の充実」が 37%、「開館時間延長」が 9%。
- ・今後の開館時間について、中央図書館では、「現状で良い」が 57%、「開館時間を拡大してほしい」が 28%、時間帯としては「夜 7 時まで以降の夜間」が 20%、「朝 9 時から」が 7%。西図書館では、「現状で良い」が 62%、「開館時間を拡大してほしい」が 26%、時間帯としては「夜 7 時まで以降の夜間」が 18%、「朝 9 時から」が 6%。

(委員からの主な質問・意見等)

[アンケートの質問項目について]

(委員) 分室の質問項目で、「この図書館は調べものに役立ちますか」という場合の「この図書館」は各分室のことか。また、「図書館が最優先で取り組む課題」における「図書館」は、市全体の図書館施設のことか。

(事務局) 「この図書館」は各分室を指しており、「図書館」は市全体の図書館を指しています。表記については、次回には分かり易い表現を検討します。

(委員) 全体の総合評価で「やや不満」という場合の原因は具体的にどういふことか。また、図書館に来館されない方の意見も聞く必要があるのでは。

(事務局) 「やや不満」の原因の具体的内容は、アンケートの集計項目としては設けていないので、総合的な評価だと認識しています。なお、利用者のみならず、広く市民を対象とする「市民アンケート」は、5 年に 1 回実施し、これまで 2 回実施しました。施設面で、本市の中央図書館の老朽化等についてご指摘をいただいています。

[開館時間延長等について]

(委員) 勤労者は、平日は夜間しか来館できないのではないかと。夜間の開館時間延長について、指定管理者の場合は対応が可能で、直営の場合はなかなか進まない部分があれば、制度の導入の是非がリンクしてくるのではないかと。

(事務局) 他市の事例では、夜間の開館時間の延長が必ずしも貸出の増につながっていない部分もあり、利用者のニーズ等も踏まえて検討したい。

[図書館での自習について]

(委員) 高校生は図書館を、自習場所として利用することが多い。住宅事情もあると思うが、自習できる場所が必要である。

(事務局) 本市の中央図書館の閲覧室は 123 席で、図書館の資料の閲覧よりも自習に利用される場合が多くなっている。

(委員) 閲覧室の利用については、自治体の事情で変わってきており、時代の変化や利用者のニーズ等も踏まえて、臨機応変に対応すれば良い。

(3) 令和元年度（2019 年度）事業について

(事務局)

①「図書購入費の状況」について

- ・令和元年度は、前年度（平成 30 年度）より、中央・西図書館とも、200 万円の減額（合計 400 万円減額）で、両館合計で、2900 万円。平成 30 年度も、中央・西図書館とも、200 万円の減額（合計 400 万円減額）。最近 2 年間で合計 800 万円の減。

② 令和元年度予算について

- ・経常経費分として、中央図書館が 6740 万円余、西図書館が約 2500 万円。中央図書館では、前年より約 100 万円の増で、清涼飲料水の自動販売機を新たに入口横に設置し、その使用料を環境整備に充当。施設修繕料について、空調設備の老朽化等により、中央図書館では 140 万円余の増、西図書館では 220 万円余の増。
- ・新規事業分としては、中央図書館で、火災等非常時の対応として、避難階段、手すり、避難通路の整備費として、830 万円余を計上。

③ 中央図書館での新規事業について

- ・建物の外に専用のロッカーを置いて、時間外に予約本の受取りを実施予定。
- ・中央図書館所蔵の音楽 CD について貸出を行う予定。

(委員からの主な質問・意見等)

[図書購入費について]

(委員) 図書購入費の予算が削減されているが、利用頻度が低くても図書館でしか閲覧できない資料や、高額でなかなか購入できない資料等に対する配慮も必要である。

(事務局) 平成 15 年以降平成 20 年までは、図書購入費が大きく減っていますが、震災復旧により行財政改革が行われた時期になります。平成 21 年以降は少しずつ増額され、平成 25 年から平成 29 年までは、両館で 3900 万円でしたが、平成 30 年以降は厳しい財政状況により減額となっている。

[ビブリオバトルについて]

(委員) 国県でビブリオバトルが開催されていると聞いていますが、本市の新年度の事業で、実施の予定はあるのか。

(事務局) 平成 30 年 3 月に第 1 回、12 月に第 2 回のビブリオバトルを開催し、今年度も 4 月に開催。今後も継続して実施の予定。

(4) 情報提供について

(事務局) 「新聞記事等の関連記事」ですが、詳細は、資料をご覧ください。

(5) 意見交換等

[感想等]

(委員) 視察先の明石市の図書館での印象で、^{がい} 障害者向けの対応が、指定管理者では弱くなると感じた。他の図書館の事例ですが、無人で機械を利用して貸出ができるシステムの場合、借りる人にとっては便利な面はありますが、職員対応が減少するに伴い、職員の資質の点が心配です。

(委員) 今年から 2 年間、兵庫県内で読書活動推進校が 13 校指定されており、本市でも末成小学校が指定されました。また、来年度には、阪神間の図書館研究会が本市で開催される予定なので、図書館の情報も参考にしたい。

[中央図書館の施設面について]

(委員) 中央図書館の 2 階に視聴覚室がありますが、今のままの利用でいいのか、検討して欲しいと思う。例えば、未就園児が利用できるスペースやブックスタート事業での利用等。

(事務局) 視聴覚室は約 100 m²の広さで、いろいろな可能性がある部屋だと認識しています。以前から有効利用について検討はしていますが、ご指摘の点も踏まえて再検討したい。

(委員) 2 階には点字・録音資料室や対面朗読室もあるが、関連資料等が未整理の状況が見受けられ、本来の目的に使用できないのではないかと感じています。

(事務局) 資料の整理等は今後行いたいと思いますが、中央図書館として見た場合、阪神間の図書館施設との比較では一番古い施設になっています。

(委員) 中央図書館の施設が古くなっている点については、意見書の中の提言にもありますが、利用者のニーズ等も踏まえて、最低限の費用でリフォーム等が必要ではないか。

(6) 次回の開催について

- ・ 次回の会議については、先進地視察ではなく、前年度の事業報告等を行う。時期については 7 月から 8 月で調整。